

CAMPUS 八戸学院

vol.52

サッカー・ラグビー

人工芝グラウンド2面完成

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部

新学長メッセージ

あそぶ、こども、あーと
～創造力を引き出す教育～

理事長散策

「孟母三遷」



八戸学院美保野キャンパス

人工芝グラウンド・陸上助走路 完成！



美保野キャンパスに新たな施設が誕生

人工芝グラウンドは、大学・高校のサッカー部、ラグビー部の活動を中心に法人各施設の行事での使用を予定しています。人工芝には、膝や腰への負担が軽減されるロングパイル人工芝使用し、照明設備が完備。

陸上助走路は、100 m 3 レーン。大学・高校の陸上競技部を中心に使用します。レーンには、ゴムチップ弾性層と強靱なポリウレタンエンボス層を複合させた陸上専用舗装材を使用。身体への負担を少なくし、筋肉疲労、怪我のより少ない高い安全性を有しています。

今後、各種大会など地域スポーツ振興への貢献を目指します。



CONTENTS

- 3 八戸学院美保野キャンパス
人工芝グラウンド・陸上助走路 完成！
- 4 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部
新学長メッセージ
- 6 あそぶ、こども、あーと〜創造力を引き出す教育〜
現代芸術教室アートイズ
- 8 八学大旋風を巻き起こせ！
〜強化指定部壮行式〜
- 10 八戸学院 TOPICS
- 12 ステラが行く／ステラ・フォーカス
- 14 八戸学院グループ東京オフィス
〜アジアと日本の希望をいい感じでつなぐ〜
- 17 同窓生の広場
- 18 理事長散策



学校法人光星学院
総務部部长
岩浪 始由

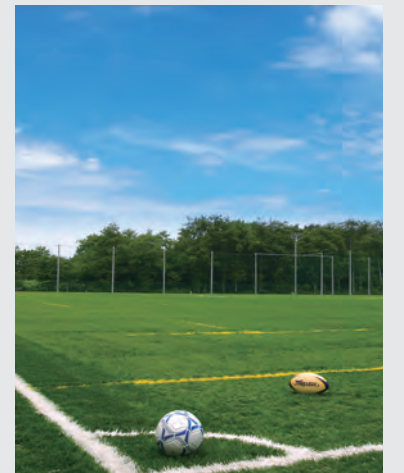
昭和 62 年 1 月に、月刊「文芸春秋」の定期購読を始め、この 6 月で 32 年と半年になった。きっかけは長女の誕生である。嫁に行くときに全部持たせてやろうと思っていたが、その量と重さであっさり拒否された。来年の 4 月には 400 冊に達する。

文芸春秋の影響で特定作家の著作に次々はまった。最初は田中角栄の政策秘書を務めた早坂茂三である。角さん関連本のほとんどを読んだ。その次が佐々淳行だ。東大安田講堂事件、浅間山荘事件など、70 年安保前後の騒乱時代を警察官僚として、正に命がけの最前線で指揮した。佐々の次が藤原正彦である。新田次郎と藤原ていの次男で、数学者でありながらユーモアあふれる洒落な文章に魅せられた。最近では、ケントギルバートが面白い。

以上が私の主な読書遍歴であるが、特定の一篇に絞るのが難しく、ご容赦願いたい。

CAMPUS 八戸学院

vol.52



表紙

人工芝グラウンド 2 面が完成し、7 月中旬から共用開始となります。サッカー部、ラグビー部の活躍が期待されます。

建学の精神 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。（寄附行為 第 3 条）

- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科
TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

「人に歴史あり」 変化を恐れず 手を伸ばしてみませんか

皆さんは「人に歴史あり」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。格言のようにも響きますが、実は昭和40年代から50年代にかけて放送された、各界の著名人の生涯を振り返るテレビ番組の名称です。私は「変化」について考えたとき、不意にこの言葉が思い浮かびました。それは、人であれ、組織であれ、変わらずにいるものは何もなく、日々の変化の積み重ねが歴史を作っていると感じたからです。

自分の人生の歴史を形作ってきた変化について、考えてみてください。

「歴史」は「物語」でもあります。生きている以上、常に意識は移ろい、身体は変容し、さまざまな人や出来事に遭遇します。そうして生じる変化の中から、自分で意味を見いだしたものを紡いで編むのが人生という物語ではないでしょうか。皆さんが本学に入学したことが、そこでのいろいろな経験をする、これが、これからの物語を豊かにしてくれることを願っています。

さて、変化には否応なく生じるものと、自ら起こすものがあります。加齢による身体の変化は前者の代表的なものですし、トレーニングをして体を鍛えたり、免許を取ったりアルバイトを始めたたりするのは後者でしょう。後者のような試みを、私たちは始終行っています。すべてが目に見える変化につながり、つなぐわけではありません。というのも、1冊の本を読んだこと、1本の映画を見たことが人生を変えることもあるでしょうが、日常の多くの行為は習慣化することで変化をもたらすからです。

自分自身を振り返れば、英会話の勉強やジョギングなど、自分を変えようとして始めては止めてしまったことが山ほどあります。そんな中で続いているのはつまるところ、自分にとって楽しい、快いことばかりです。成果や報酬が目に見えるなら、楽しくなくてもやれると思うかもしれませんが、自分



八戸学院大学短期大学部
学長

杉山 幸子

専門分野は発達心理学、発達社会心理学。東北大学大学院文学研究科卒、博士号取得。東北大学文学部助手、岩手大学人文科学部非常勤講師を経て、2005年に八戸短期大学（現八戸学院大学短期大学部）で教鞭を執り、2019年度より短期大学部学長に就任。

変わる力、変えない力、 そして、“嵐を呼ぶ”力

今年の4月1日、季節はずれの降雪で純白の世界となった美保野キャンパスにて私は新学長として辞令交付式を迎えた。その後も、この春、キャンパスには春一番が吹き荒れた。どうも私は昔から新しい赴任先では嵐を呼び込んでしまうようで、「嵐を呼ぶ男」と冗談めいて呼ばれることもあった。私が巻き起こすのは天候の乱れだけではなく、学生の皆さんの学業においてはみならず課外活動、教職員にとっては管理運営から学外対応・地域貢献などと私は旋風の源となってきたようだ。

一度、嵐が吹き始めるとその風雨に

押されてググっと同じ方向に進み出す者もいれば、物陰に隠れてその影響を最小限に抑えようとする者も居る。逆に、嵐に立ち向かって食い止める力を発揮する者、或いは、嵐の押し進む力をうまく利用し自分の力とのバランスを調整して方向を変える者も居るだろう。本キャンパスにおいて異なる様々な力を発揮できる全ての仲間が重要であるが、あなたはどのタイプだろうか？

本学硬式野球部は、北日本大学野球連盟春季リーグ戦において、因縁の対決となった終盤の対富士大学戦の初戦に勝利を収め9勝1分けの成績でリーグ優勝を果たした。この結果、11季6年ぶりに全国大学野球選手権への出場権を掴み取った。この勝利に先立ち、野球部新入生の歓迎会への招待を受けて、私は野球部・飛天寮を訪れた。その折、寮のドアで私が目にしたのは、

「①八戸学院大学の嵐を呼び起こせ、②八戸市民に愛されるチームとなれ」と書かれた張り紙であった。これらの言葉は、この春に挙行された本学強化指定部壮行会の学長挨拶で私が選手へ託した内容であった。

今春、美保野キャンパスは大学222名、短大部99名の新入生と9名の新任教職員が加わり、多様な力を保持す

る多くの仲間と共に、令和元年を迎えた。八戸の地域の皆さまにとって愛され魅力ある大学とは、一体どんな大学なのか？地域社会が抱える問題・課題を真摯に受け止めて、教育、研究、そして、実践の仲間の英知を集結させてチームワークによりこれらの解決に挑戦し続ける姿、豊かな地域社会の創生に挑む若人らの人財育成を担う姿、このような大学像を私は描いている。系列幼稚園・高校、短大部、大学の連携をより強化し、学科教員と課外活動指導者を含む職員の皆が一体となって美保野キャンパスにおいて展開する新たな未来を切り開く嵐を巻き起こす力を発揮してくれることに大きな期待を寄せている。

八戸学院大学
学長

水野 眞佐夫

研究分野は健康・スポーツ科学、身体教育学。デンマーク・コペンハーゲン大学医学部講師、デンマーク・リーベ州立病院研究部部長を務めた後、2006年から北海道大学教育学研究科（研究院）教授として研究・教育・管理運営を担う。2019年度より八戸学院大学学長に就任。



あそぶ、こども、あーと～創造力を引き出す教育～

現代芸術教室 アートイズ



八戸学院大学短期大学部
幼児保育学科 准教授
佐貫 巧 Takumi Sanuki

1982 年静岡県出身
東京芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了
同大学教育研究助手を経て、2013 年から
八戸学院短期大学（現：八戸学院大学短期大学部）
に勤務

現代芸術教室「アートイズ」は、八戸市を拠点に3～10歳の子どもの対象とした造形教室です。単なる上手い下手ではなく本来持っている発想力を引き出し、創造と表現の「楽しみ方」を学び「過程」にこそ価値があることを伝えていきます。平成27年度から、八戸市美術館の教育普及プログラムに起用され「出張アートイズ」として様々なイベントに参加しています。また、平成30年度からは、十和田市現代美術館と共にプログラムを展開するなど幅広い年代の方がアートと触れる場を作っています。

た。平成32年度に開館を予定している「八戸市新美術館」に向け、このような市民の活動を提示することが大事になってくるのではないかと考えています。

「大人の70%が絵を描くのが嫌い」。あるアンケートの結果です。その理由は様々ですが、子どもたちが絵を描くことをずっと好きでいられるように出来ることは、周りの大人が興味や発見に共感し感動することです。子どもは、大人が忘れてしまった素晴らしい子どもの世界の中で生きています。子ども独自の視点や発想力・感じたままを素直に表現出来るような環境を作ることが今後の目標です。

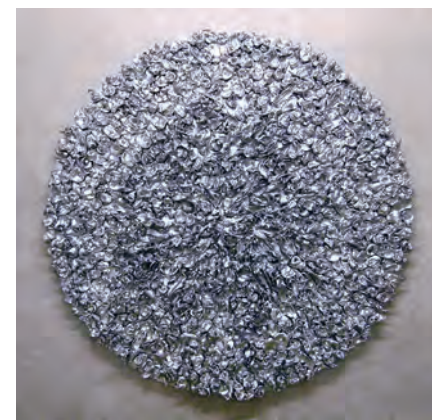


南郷小学校校章デザイン



「八戸市立南郷小学校校章」(2015)

『ひまわり』のように、まっすぐな優しさと温もりで周りの人を元気にしてあげられるような児童になって欲しいという願いが託されている。そして、市野沢小学校、中野小学校、鳩田小学校の3校が統合されたことを図案化した。



「溶解 - 円環するイメージ -」(2014)『第10回大黒屋現代アート公募展』入選

観る者と呼应して現れる『かたち』が、生活の中で感じるイメージや記憶と密接に関わることをテーマとし、絵画を軸に彫刻や写真など様々な媒体に展開。現代アート展「インシデンツ」を企画運営し、アーティストとして国内を中心に多数展覧会に参加。



アーティスト活動



八戸マテリアルアプローチ



階上町と共同で制作したPRポスター(2015)。「風の人と土の人が出会う場所」というキャッチコピーやコンセプトを学生と考え、町内の巨木をモチーフに神秘的な魅力を表現。ポスターの他に、顔出しパネルや駐輪場の壁画制作など地域の活性化に協力した。



階上町プロジェクト



なんごうカルタ



南郷アートプロジェクト「物語をあつめる。」という企画でカルタのイラストを担当。八戸市南郷に住む60代～90代から個人や集落にまつわるエピソードを伺い、クリエイターと共に創り上げた。『なんごう小さな芸術祭』(2018)で原画を展示。



ハチノヘブルー



「八戸ポータルミュージアムはっち」にて開催(2018)

『ハチノヘブルー』をイメージする写真(風景や物など)や言葉(エピソード)を市民から集め、<あお>という視点で八戸を見つめ直すプロジェクト。<あお>をテーマにした自身の作品や、子ども向けのワークショップで制作した作品が空間を彩った。

部活動を通じた成長を

光星学院理事長 法官 新一

私も大学時代に弓道を通して多くのことを学びました。弓道には、科学や哲学、文学、歴史などあらゆるエッセンスが含まれています。仏教に「会者定離（えしゃじょうり）」という言葉があります。これは、会うものは必ず別れるという意味ですが、弓道では、目一杯矢を引き、飛んでいく瞬間を示しています。この時に精神的な迷いがあつたり、体力的に劣っていると矢はまっすぐ飛びません。瞬間を大切にしろという教えです。また、「射裡観徳（しゃりかんとく）」という言葉があります。乱れた気持ちがあるとそのまま自分の射にあらわれる、自分の行いを自分を通して反省するという意味です。

弓は、食べ物をとる狩りの道具として生まれ、武器になり、現在自分を修養する道具として残っています。弓道を始めて50年以上経ちますが、弓道から学ぶことは多く、修養はまだまだ続くと感じています。私が弓道を通して様々なことを学んできたように、みなさんも部活動を通して様々なことを学び、人間的に成長し、素晴らしい生き方を見つけてください。

無限の可能性への挑戦

八戸学院大学学長 水野 眞佐夫

スクールカラーのえんじ色は、熱き情熱の中にも冷静沈着な行動力をイメージしています。そして辛いときも良いときも決して奢ることなく、無限の可能性に挑戦していくという思いを表しています。これらの思いを胸に八学大旋風を巻き起こしてください。

また、強化指定部の目標は、八学大の名前を背負い試合に出場することがの唯一の目標でしょうか。そうは思いません。試合に出場する選手はもちろん、選手をサポートする者、スタン



ドで応援をする者、チームで目標達成にむけて一丸となり挑戦することに意義があると思います。そして、その活動を通して、八戸の皆さんに愛される部活動を目指してください。どうすれば愛される部活動になれるか、それを今日集まった405名で知恵を出し合い考えてみてください。達成できたときに新しい景色が見えてくるはずです。

新たな皆さんの挑戦を期待しています。



「誓いのいっしょ」

女子サッカー部主将 横濱 葉奈

私達は、「神を敬し 人を愛する」という建学の精神を胸に強化指定部の選手として誇りを持ち、勉学や部活動、そして地域貢献活動に精一杯打ち込むことを誓います。



2019 年度強化指定部

- ・硬式野球部
- ・男子サッカー部
- ・女子サッカー部
- ・男子バスケットボール部
- ・女子バスケットボール部
- ・アイスホッケー部
- ・男子ラグビー部
- ・女子ラグビー部
- ・陸上競技部
- ・自転車競技部
- ・スピードスケート部
- ・ゴルフ部
- ・弓道部
- ・演劇部



八学大旋風を巻き起こせ！ ～強化指定部壮行会～

八戸学院大学では、「強化指定部」14団体を認定し、強化指定部壮行会が開催され、水野学長より各部活の代表者に認定書が手渡されました。これは、部活動と学業の両立を様々な形で支援するもので、部活に所属する405名が参加しました。



認定された14団体の部活動の代表者



とで、強固なチームワークが生まれ、ム全員で同じ考えや目標を共有すること、この毎日の積み重ねによりチームを大事にしようと毎日声をかけあいました。この毎日の積み重ねによりチーム全員で同じ考えや目標を共有すること、この毎日の積み重ねによりチーム

意識改革
硬式野球部 主将 北畠 舜人
去年の春季リーグ戦では、開幕から8連勝することができ、このままの勢いで勝てる、優勝できると気持ちが先走ってしまい富士大学に3連敗してしまいました。

今回のリーグ優勝に繋がったのではないかと思います。
全日本大学野球選手権大会では勝つ事の難しさを痛感しましたが、野球の楽しさも改めて感じました。全員がもう一度あの舞台で野球がやりたいという気持ちになったと思います。秋の明治神宮野球大会出場を目標に、神宮大会で勝てるチームを一から作っていききたいと思います。



全日本大学野球選手権大会では1回戦に入ると1戦目に日没コールド引き分けという悔しい結果に終わり2戦目のサヨナラ勝ちしチームに勢いが出てきました。今季は昨年のリーグ戦とは異なり大差で勝つという試合はありませんでしたが選手が一人一役出来ており、逆転勝利ができたのだと思います。最終週の富士大学戦にも2勝し1つも負ける事なく優勝でき、チームの為にしてきたサポートが報われた瞬間でした。



ご声援よろしくお願ひ致します。
戦佛敎大学にサヨナラで負けてはしまいましたが選手が試合に入る前の緊張感を肌で感じ選手と一緒に戦えてとても幸せでした。また、秋山さんをはじめとするOBの方々に応援に来て頂き、野球部創立からの伝統を再認識できる良い機会になりました。

選手権を終えて1アウトを取る難しさや、全国でも通用する事を自信にしてもらい秋の神宮で優勝できるよう一杯のサポートを行っていききたいと思っています。



2013年秋季リーグ以来11季ぶりのリーグ優勝を果たし、第68回全日本大学野球選手権に出場しました。東京ドームで行われた1回戦、初戦突破はなりませんでした、5年ぶりのリーグ優勝および全日本野球選手権大会の思い、これからの硬式野球部の目標について聞きました。



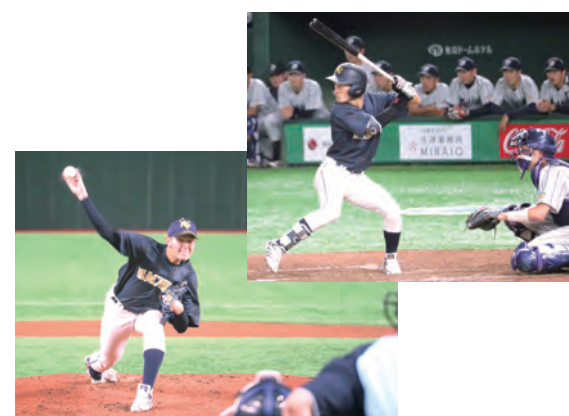
愛される八戸学院大学を

硬式野球部 監督 正村 公弘

この度、第68回全日本大学野球選手権大会に出場するにあたり、多大なるご支援、ご声援を賜り誠に有り難うございました。皆様の期待に沿うような結果にはなりませんでした、この経験を糧に秋のリーグ戦に向け、学生達と共に努力していく所存であります。

さて、今回の春季リーグ戦から選手権大会までを振り返るとともに、今後の硬式野球部の活動計画等を記させていただきます。

リーグ戦第一週岩手大学では、初戦引き分け、第二戦でもサヨナラでの勝利と厳しいスタートとなりました。第二週、第三週も厳しい戦いが続き学生達も精神的に強くなってきたと感じながらの5連勝でした。第四週青森大学は、大道、中道の危なげない投球と北畠（主将）のホームランなどで7連勝することが出来ました。最終週富士大学戦では、一勝すれば優勝と昨年と同様の展開となり、不安を抱えての戦いでしたが、2回に北畠の満塁ホームランが飛び出し、その思いを払拭することができ、大道、中道のリレーで、6年ぶり15度目の優勝をすることが出来ました。学生達、応援して下さい方々の歓喜を見て勝ったことに安堵したことを覚えています。また、多方面から祝電や電話、メッセージ



ジを頂き6年間と遠ざかっていた【優勝】を実感しました。
選手権大会では、一回戦戦佛敎大学と対戦し、9回、3点差を逆転されサヨナラ負けという結果に終わってしまいました。なんとも後味の悪い試合になってしまい、学生達、応援に来ていただいた皆様に申し訳ない気持ちです。なお、この悔しさは、野球で返すしかありません。もう一度初心に返り、学校生活、寮生活等をしつかり充実させ、練習も基本を大事に精進していきます。今後北東北大学野球連盟で、常勝するため、大学野球選手権で勝ちあがるために、学生達と考え、鍛え、強い八戸学院大学、愛される八戸学院大学を築いていきたいと思っています。引き続き暖かいご支援、ご声援をよろしくお願い致します。

光星高 在札幌米国総領事館 首席領事との交流会 [4/16]



昨年、C N E 1 の海外語学研修に参加した生徒 20 名は、在札幌米国総領事館の首席領事を招聘し交流の機会をもつことができた。首席領事から「英語力とコミュニケーション能力は別で、完璧な英語でなくても怖がらずに話すことが大事」と聞き、より一層英語に興味を持ち、体験発表をした 3 名と参加した生徒たちは緊張しながらも身振り手振りを交えて質問するなど意識改革にも繋がる有意義な交流であった。

専攻科 13 名が介護福祉士として新たな一歩を
～介護福祉士国家試験合格率 100%達成～



介護福祉科の学生 13 名が介護福祉士国家試験を受験し、13 名全員が無事合格、合格率 100% を達成しました（全国平均は 70・8%）。従来までは卒業と同時に介護福祉士の資格が取得できましたが、法の改正により、平成 30 年 3 月の卒業生から国家試験受験が課せられ、この試験に合格した者のみが介護福祉士の国家資格を得ることになります。学生一人ひとりが様々な状況の中で、先生やクラスの仲間達と助け合いながら一致団結して頑張り、皆で勝ち取った全員合格だと感じています。ご支援ご協力頂きました皆様には深く感謝申し上げます。

野西高 チャレンジ精神と感謝の心を胸に、前へ進め [5/28]
～サッカー元日本代表 川口能活氏からのエール～

大塚製薬の後援を頂き、「スポーツ進学系創設記念講演会」が、ポカリスエット「エールとともに」エールキャラバン 2019」のタイトルの下、サッカー元日本代表ゴールキーパーの川口能活さんの講演が開催されました。川口さんは高校時代を中心とするこれまでの自身の歩みを振り返りながら「チャレンジすること」「感謝する心を持つこと」の二つのメッセージを送りました。結果を伝えるだけでなく、生徒に考えてもらう問いかけや生徒からの質問に率直に答えるなど、さわやかな語り口が印象に残る講演を終了しました。生徒からは、「川口さんの講演に励まされた」や「二つのメッセージを胸に頑張る」「スポーツに親しみ、挑戦し続けることの大切さを感じた」などの感想が寄せられました。スポーツ進学系の船出にふさわしい、感動を呼ぶ講演に感謝の思いがあふれていました。



講演終了後、教職員・全校生徒との記念撮影を行い、講演終了後はサッカー部生徒への実技指導が行われました。実技指導では、川口さんから暖かく時には厳しい助言・指導を頂き、選手は真剣な眼差しで聞いていました。新幹線の発車の時刻ぎりぎりまでの熱い指導に本校サッカー部スタッフ・部員一同、とても感動していました。応援ご支援に心から感謝申し上げます。

法人 社会福祉問題解決に向けて

学校法人光星学院と東北医療福祉事業協同組合（SG グループ）は、介護福祉の人材育成などに向けた連携・協力協定を締結しました。

東北医療福祉事業協同組合とは、これまでも非常勤講師派遣や実習生の受入れなど協力体制を築いてきましたが、今後、教育関連事業の連携や施設・設備等の相互利用、学生への奨学金支援など人的・物的資源を相互活用することで双方の活動の充実を図り、担い手



東北医療福祉事業協同組合と連携・協力協定締結 [6/17]

が見で法官理事長が「協定は教育の現場と福祉の現場を結ぶもので、この取組が社会福祉問題の解決に役立つことを期待している」と話したの対し、東北医療福祉事業協同組合田中理事長は「教育を得意とする光星学院と協定を締結することは非常に意義のあることだ。また、人材不足を打破するためには、外国人の人材育成に取組んでいる光星学院の力が必要である。お互い連携を取り、尚一層地域に貢献したい。」と決意を述べました。

短大 ウォーキング教室

短期大学部では、2018 年 9 月から近隣にお住いの方を対象とした、週 1 回のウォーキングクラスを開催しています。ストレッチを交えながら、通常速度のウォーキングと早めのウォーキング（速歩）を交互に繰り返す 1 時間程行っています。「高齢者でも容易に取り組める」「運動不足が解消できる」「体調が良くなった」「歩容が良くなった」という声も多く、地域の高齢者の介護予防につながる、また大学と地域とがつながっていく重要な活動であるといえます。



短大 新入生宿泊研修



幼児保育学科新入生宿泊研修が、4 月 12 日～13 日、新安比温泉「静流閣」で行われました。今年の研修は、学生・教員の親睦と幼保の学生としての意識づくりを中心に企画されました。

「学内オリエンタリング」「出会いのワークショップ」は研修に不安や緊張を抱える学生の心を溶かし、「保育者になるために」では保育者としての視点、「教育・保育実習について」では上級生の実習体験を聞き、保育者となる自分について考える機会となりました。

宿泊研修は保育者を目指す新入生にとって目標に向かって取り組む意義深い研修となりました。

八戸学院聖アンナ幼稚園

春の季節祭～理事長先生へごあいさつ～

4月19日、お花見をするために美保野キャンパスに出かけました。初めに、キャンパス内のチャペルで本法人の法官新一理事長先生にご挨拶。理事長先生からハコベのお話や歌のプレゼントがあり、お返しに子どもたちが賛美歌「マリアさまのこころ」を歌い、穏やかで良い雰囲気の中で過ごすことができました。キャンパスの桜は残念ながらまだ蕾でしたが、周りの草木に触れたり、小さな虫やふきのとうを見ついたりして春を感じることができました。広い芝生の中を思いっきり走り

回り、そろそろお腹が空く頃…。桜の木の下に大きなシートを敷いて、みんなで一緒に手作りのお弁当を食べました。「美味しいね～」と笑顔いっぱいの子どもたちでした。



ステラ・フォークス



八戸学院3幼稚園
マスコットキャラ
ステラが行く
vol.4

八戸学院第二しののめ幼稚園 「交通安全教室」

子どもたちが安心・安全な園生活を送れるように

広場の方から横断歩道の渡り方教えていただきました。「赤信号は止まれ。青信号は進め。青信号が変わったら、右を見て、左を見て、もう一度右を見て、車が来ないかを見ながら気を付けて渡ります。青信号に変わっても、信号無視をしてくる車が走ってくるかもしれないため、左右をしっかり見て十分に気を付けて渡ることが大切です。また、青信号が点滅した時は渡り始めはいいけません。横断中に点滅した場合、急いで渡りきるか歩道まで引き返さなければなりません。」という説明を園児たちはしっかりと聞き、お友達と手を繋ぎ実際に横断歩道を渡る練習をしました。初め



は、左右の確認をしている間に青信号が点滅してしまい、渡れないこともありましたが、徐々に左右の確認をして素早く渡るようになってきました。

その後、年長組は自転車に乗って交通ルールを守りながら走りました。止まれでは、停止線の前で止まり、左右を確認して走り出したり、踏切では、停止線で自転車を降りて左右を確認し、自転車をおして踏切を渡り切ってから乗って走りだすなど、お友達とサイクリングを楽しみながら、さまざまな標識や交通ルールに触れることが出来ました。

子どもは大人より視野が狭く、見えてい

る範囲や高さが違い歩くスピードも遅いた

八戸学院幼稚園

親子で体験 嬉しい一日 ～親子遠足&給食試食会～

今年度は行事の見直しに取り組み、親子遠足を2回に分けて実施することとしました。親子遠足は、親子で楽しむことは勿論、保護者の皆様の親睦を深めることも大事なことです。5月17日は1・2歳児クラスと年少組が「八戸公園 こどもの国」へ出かけました。お天気にも恵まれ親子で玉入れをしたり、公園内の遊具で遊んだりとゆったりと過ごしてきました。遊んだ後の子ども達は、「お腹がすいた」と言いながら園に帰り、楽しみにしていた給食を親子一緒に「美味しいね」

と笑顔で食べていました。

メニューは「郷土料理」を準備していただきました。6月は、年中、年長クラスが種差海岸国立公園の自然を親子で散策します。勿論メニューは「郷土料理」です。



八戸学院第二しののめ幼稚園

やってみよう！

八戸学院短期大学部、澤井先生の運動遊びが行われた。ホールへ行くと複数の線が床に貼ってあり、子ども達は何をやるのかと期待を膨らませ活動が始まった。

「むすんでひらいて」の手遊びや床に座ってのストレッチ、準備体操をした後はクモやヘビになりきり体全体を使って楽しんでた。

子ども達が興味を持っていた床の線を使っでの活動（体のバランスをとる動き）では、手足を線からはみ出さないように慎重に歩くという内容

だった。澤井先生をじっと見つめ真似をする子ども達の表情は真剣で、「やってみよう」という意欲も感じられた。

活動終了後は「楽しかったね」と友達同士の会話も聞こえてきた。



■ポケットひろば 開催

水あそびを楽しもう
～しゃぼん玉・魚つり・スーパーボールすくい～

日 時：令和元年7月3日(水) 10:00～

場 所：八戸学院第二しののめ幼稚園

■親子の広場

日 時：令和元年7月6日(土) 10:00～

場 所：八戸学院第二しののめ幼稚園

※いずれも申込不要、参加無料



め、子どもたちと同じ目線に立って交通安全の指導をすることや、青信号でも危険があることを伝えていきたいと思っています。

八戸学院グループ東京オフィス ～アジアと日本の希望をいい感じでつなぐ～

学校法人の展開する教育活動の周辺領域事業で様々な地域や企業が求めるサービスを提供している八戸学院東京オフィスをレポートします。



八戸学院グループ東京事務所スタッフ（左から松野さん、鈴木さん、蔵元さん、白旗所長、武輪さん、大谷社長）

はじめまして。白旗です。東京オフィスの雰囲気今日はレポートさせていただきます！まずは写真をご覧ください。大谷社長を中心に若々しい雰囲気です。集まる面々は海外好き、アフリカ、フィリピン、世界を駆け抜けた猛者たち。その行動力を武器に、ミッションである「アジアと日本の希望をいい感じでつなぐ」を実現すべく、励んでいます。



八戸学院グループ東京事務所オフィスがある SENQ 霞が関の様子

具体的には、日本の若者にグローバルな視野と体験、英語学習の機会を提供しています。またアジアの若者の日本への留学や就業をサポートすべく、人材育成と人材紹介事業を展開しています。そしてこの4月からは日本の未来を変えていく若者を育成すべく、インフィニティ国際学院を開校しました。私たち自身が変化を楽しみながら最大限のホスピタリティとユーモアを持って仕事をしています。お陰様で社員が増え、オフィスが手狭になってきたことが最近の悩みのタネ。日々進化する東京事務所面々をよろしくお願いします！

八戸学院グループ <https://www.hgg-japan.com/>



〈生徒の笑顔に繋がる仕事を〉

高校は、地元福島商業高校に通っていました。3年生のときに「商業」について進んでさらに学びたいと思うようになり、八戸出身だった担任から八戸大学（現八戸学院大）を勧められました。大学に入学して、まず、学生の数の多さに驚きました。講義室も学食にもたくさん学生がいて、活気あるキャンパスでした。講義では、より高度で専門性の高いものを学ぶことができました。また、不慣れたスーツ姿で市内の会社へアンケートへの回答をお願いした向いたゼミ活動もとても緊張したことを覚えています。サークル活動では「トラベル愛好会」に所属し、青森県内を車で旅行しました。私を含め県外出身者が多く「尻谷



青森県立八戸中央高等学校
教諭

村井 喜代子 先生

八戸大学（現八戸学院大学）商学部
平成9年3月卒業

崎」や「恐山」が人気でした。学校以外では、様々なバイトを経験し、そこでビジネスマナーや目上の方との関わり方を学びました。

大学4年のときに臨時講師の話をいただき、市内の商業高校に勤務しました。教員1年目は、仕事の流れや進め方から分らず、周りの先生方を見て仕事の進め方を必死に覚えしました。また、資格取得に向けた指導方法など様々な講習を受講しました。その後、教員採用試験に合格し、普通高校を経て、以前から興味があった特別支援学校への勤務を希望し、8年間勤務しました。特別支援学校は、校種が違いため教育課程も異なり、多くのことを学ぶことができました。これまでの

商業高校、普通高校で得た経験も貴重な財産となっていますが、特別支援学校を経験したことで、より細やかに生徒に接することができるようになったと思います。

現在、支援が必要な生徒に関わっていくための新しい勉強に取り組んでいます。これからも様々なことを吸収し財産を増やして、生徒の笑顔に繋がる仕事をしたいと思っています。

先輩からメッセージ

自分がやりたいと思ったことは、挑戦してみてください。すぐ結果が出ないかもしれませんが、その経験がいつか大きな結果に繋がるかもしれません。信念を持ち何事もやりとおす気持ちが大切だと思います。



「孟母三遷」 ～教育環境の大切さを考える～

孟 母三遷 という中国のことわざがある。子供の教育環境を求めて、転々と居を変える母親が最も子供の教育にふさわしい場所として、学校の近くを選んだという話である。

今年入学した中国の留学生と面談する機会があった。彼らは、本学の学生として美保野のキャンパスをどう感じているのだろうか。印象を聞いてみた。広大な中国の教育環境からの意見・感想は、美保野キャンパスは自然に囲まれ、静かで教育環境はとても良い。ただ、交通の便が良くないという感想であった。美保野キャンパスの立地条件から、創設当時から学生の殆どがスクールバスか自家用車通学が主である。

都会は土地の価格も高く校地は狭い。地方の学校はその点広々とした校地で、自然満載の環境に恵まれているが、どこも交通アクセスが不便で、自家用車の通学に頼っている。アメリカや、オーストラリア、ヨーロッパの学生生活スタイルと同じである。一昔前の日本は、学生が車で通うなど考えられなかったが、アメリカや欧米に習う学生の生活スタイルができた。それに伴って車社会の一員としての教育も充実してきている。

中国からの留学生にも、是非、本学に留学中に運転免許を取得し、自家用車通学を経験して欲しい。そして車社会の先端をいく日本の運転技術やマナー、ルール、そして保険制度まで学んで、中国の車社会に大きな貢献を望みたい。

留学生受け入れに関して、生活環境を整えることは我々法人だけでは負担が大きいものがある。人口

記事が載った。今更ながらという感否めないが、事前にそうした見通しも検討したのであるが先見の明が疑われる内容である。

近々オープンする、市の中心部の屋内スケート場は良としても市川地区のサッカー場や西地区建設のホッケーリンクや八戸駅周辺の開発は、人口の減少の歯止めとは裏腹に地域分散でより一層街中空洞化も懸念される。

昨年度、本学の学長を兼務した関係で、八戸市の「八戸市都市研究協議会」(都市研)の委員として会議に出た。年二回だけであったが、八戸の活性化推進や人口減少に歯止めをかけることがテーマであった。来年度は、留学生やスポーツなどをテーマに検討がされることになっているが、昨年度末に調査研究の成果が報告され、八戸市における高等教育機関の重要性が確認された。特に3大学の八戸市における経済効果の大きいことが、具体的な数字で報告があった。このことから八戸市に位置する高等教育機関の役割も明確になり、市行政と一体感のある行動が期待されることである。

大学法人は文部科学省の管轄だが、地方都市にあっては高等教育機関が地方の発展のために役割を担うことが当然で、連携協力は積極的に進め具体性を帯びなければならない。先の全国私立大学協会の会議の場で、県知事経験のある学長さんは、何度も大学は文部科学省の管轄と前置きしながら、地方の大学の発展は地方行政と深い関係でなければならぬと主張した。地方自治体からの援助を受けることは容易でないことも、実現の可能性も薄いとい

減少に悩む地域では、留学生に寮や宿舎を提供している地方自治体もあるという。本学の留学生には勉強だけでなく、本学特有の生活環境の中でいろんなことを学んで欲しいと思うが、地域や地域行政と一体になって進めて行くことを理想としている。

昨年、北京、景徳鎮、西安の中国各地の3大学、2語学専門学校を訪ねたことがきっかけになって、本学に対する関心も高まり、今年是中国の専門学校はじめ大学等の視察が相次ぎ本学見学に来訪する予定である。すでに、昨年度協定を結んだ西安市の現代韓日学校は、八戸市や本学に興味を持つ学生の見学ツアーを編成し、来八する企画をしている。

中国の大学を訪問し驚いたことは、殆どの大学は、在籍数1万人以上という。国民の人口からすれば当然のことと思うが、郊外の広大な場所に大学が建設されると、学校の正門前にはすぐに食べ物屋が出来、生活必需品を商う店舗が出来、あつという間に学園の町が出来てしまうという。学生が集まり、生活のための支援で人が集まり、商売が成り立つ。当然交通網の整備が進み大学を中心に町が出来てしまふ。景徳鎮はまさに大学の知的役割と町の歴史や文化、そして生活と経済が一体となって発展している学園都市の典型であった。

最近八戸市では中心部活性化の推進で施設整備が進みそれなりに賑わいを見せているが、先般の新聞記事によると八戸市の人口は23万人台に減少し、その歯止めは困難なのかもしれないという記事。あわせて、同地方紙に小渡章好氏の、「商業施設の中心部からの移転は市の発展に大きなマイナス」という

うことも理解の上での発言であったが、地方における大学の存在は経済的効果も含め地方再生には重要な位置づけという同感する発言であった。

八戸は、海・山の自然に恵まれ、漁業で栄えた海の町から、商業の町として、また東北有数の工業の町、そして歴史と文化の宝庫。近年はスポーツも食も全国的な認知度を持つバランスのとれた町に成長している。さらに教育機関が加わるのが、本当にバランスのとれた八戸になるのではないか。まもなく日本屈指の屋内スケート場が完成する。また美術館建設構想が進んでいる。我々もお手伝いしようとしている。大学と行政が密に連動した行動に賛成である。

10年ほど前になるが、本学院の新校舎完成の祝賀会をプラザホテルアーバンホールにて盛大に開催したことがあった。本学の一大事業だったので、八戸市長さんはじめ、日頃お世話になっている各界から大勢ご参会いただいた祝賀会だった。その席上、皆様の前で話する機会をいただいたのだが、頭の片隅にあった幻の八戸市学園都市構想を思い出し、つい口を滑らして「我々はより良い教育のために環境を整備することに責任がありますが、八戸学院大学と八戸工業大学の位置する美保野のあたりを学園都市にして、例えば両大学の中間あたりにプロ野球の公式試合が出来るクラスの野球場整備とか…」と発言、(失言か)に、来賓各位の賛同の微笑みと小林市長さんの苦笑いが記憶にある。「孟母三遷」、美保野教育環境を今一度考えてみたい。



HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT

八戸学院大学短期大学部 ステンドグラス



平成27年に完成した八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟。高い天井が印象的なステンドグラスにはあるしかけがあります。西日が差し込むと壁面や床にステンドグラスの模様が映し出されるよう角度が調整されています。太陽の高さや光量によりステンドグラスの模様の印象が変わるため、違う表情を楽しむことができます。

八戸学院大学短期大学部

